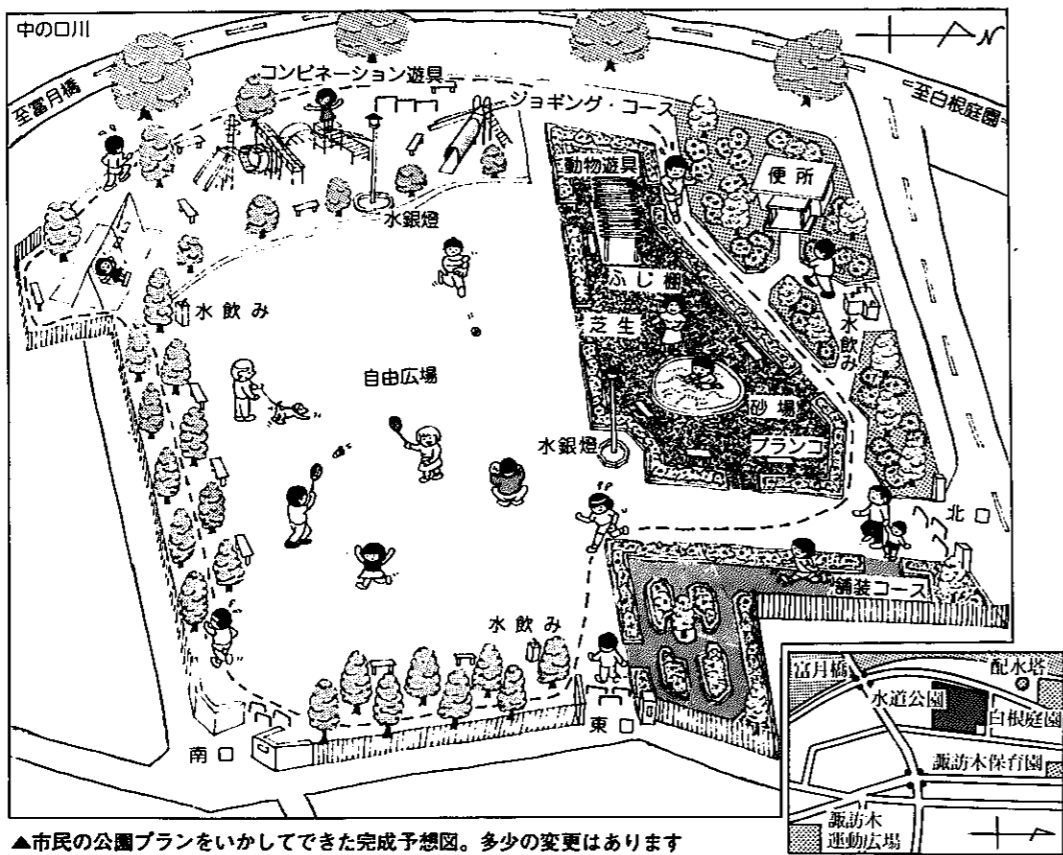


### 水道公園完成予想図



▲市民の公園プランをいかしてできた完成予想図。多少の変更はあります

### 応募をありがとう

小学1年生から72歳のおじいさんまで、たくさんのご応募ありがとうございました。

応募者総数 61人  
公園名応募点数 170点  
公園プラン応募点数 35点

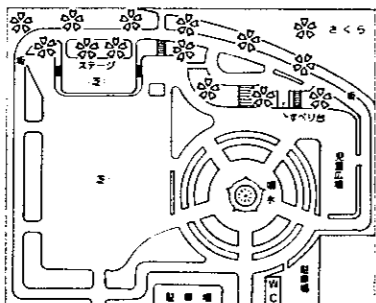
### 水道公園の名づけ親

公園名に応募が一番多かったのは「水道公園」 この公園の名づけ親11人のみなさんに、薄謝をお送りします。(敬称略)  
上杉昭芳(旭町) 橋本典子(水道町) 鷲尾カズ(砂押)  
吉田時朗(庄瀬) 遠藤 徹(大郷) 関根睦子(水道町)  
山田淳子(新飯田) 竹内智彦(高校前通り) 阿部知恵(高井団地) 高橋イツ(水道町)  
田村聡子(二の町)

### 優れた公園プラン

すべてユニークで優れたプランでした。そのなかから、大変参考になったプランをお寄せくださったみなさんに、薄謝をお送りします。(敬称略)  
福島 悟(水道町) 阿部善衛(二の町) 中村尚治(五六の町) 丸山政信(魚町) 関根知子(みの口)

### 公園プランの応募作品のなかから



みなさんから多く出されたプランの一部を紹介し、それに開発課からの返信回答をつけました。( )は開発課の回答  
□来園用の駐車場を(児童公園の性格上できません)  
□敷地内の建物、水族館や記念館に(建物内部には深さ3mの水槽があり、危険です。改築

### 公園プラン

## 豊かな緑と大きな広場が欲しい！

### 市民の望む公園いろいろ

- 夜間照明を(二基以上の水銀燈をとりつけます)
  - 噴水のある池を(予算的に無理で、管理上むずかしいです)
  - 高低をいかした公園を(敷地内すべて地下槽で危険なため、とりこわし整地する計画です)
  - いちようやはさ木などの並木道を(良いプランですが児童公園のため、視野を妨げるものがないことが要求されます)
  - 周囲にジョギングコースを(初めての試みですが、取り入れてみたいと思います)
  - 屋根付きの休憩所を(予算的に無理のため、ふじ棚をとりつけ、テーブルと椅子を置きます)
  - 四季おりおりを楽しめる公園に(配慮していきます)
  - 花壇や芝生を(維持管理がむずかしいため、花壇のかわりに花木と、芝生やクローバーを植えていきます)
  - 桜の名所に(すでにある堤防沿いの桜と合わせ、桜の木の多い公園にしていく計画です)
  - 舗装グラウンドを(最近の公園は土肌を多く出すよう指導を受けています。要望も多いことから、舗装コースを設けます)
  - 遊具を多く(幼児向け、児童向け)
- このほか応募者数一人の公園名は八十九点もあり、楽しいものもいっぱいあります。少し紹介してみましよう。若草公園 市民公園「幸福の園」 白根水道パーク ありあけ公園 堤根公園 さつきが丘公園 白根シテイパーク 水の広場 ファミリー公園 マンモス公園 あすなろ公園 凧つ子公園 花の丘公園

## 主役は市民・あなたです

# 市民の声をいかした公園名と青写真が完成

## 新しい公園名は「水道公園」に

市では、市民の声をいかした公園づくりをめざして、みなさんから公園名とプランを、広報しるねで募集しました。大変ユニークな公園名とプランが多く出され、企画財政課と担当課の開発課で慎重に検討いたしました。その結果、新しくできる公園名は「水道公園」に決まり、青写真はできるだけ市民から出されたプランをいかしてつくられました。また、数多く出された公園名やプランは、今後の公園づくりの参考にします。

### アイデアいっぱい 市民の公園プラン

使えんにびつりと書かれた公園プランや、いねいに書かれたイラスト・設計図などたくさん良いアイデアが寄せられました。

なかには、「ポー」のようなラせるような良い意見も数多くありました。そのなかからこんなアイデアを、この公園にとり入れてみました。

### ジョギングコースや 舗装されたコースを

体力づくりもできるように、公園の周囲にジョギングコースを設ける予定。思いっきり走ってみてください。子どもたちがキャッチボール

や、軽スポーツを楽しめる自由広場をたっぷりとりました。また、ローリースケートも楽しめる舗装コースもつきます。

樹木を多くとの要望から二十本の桜や、百本のさつきなど数種類の花木でいっぱい。ふじ棚の下は、きのこのテーブルと椅子。ピクニックにもどうぞ。

幼児用と、児童用の遊具も多く、子どもたちも思いっきり遊べます。それに、クローバーや芝生のスペースや、ベンチも置く、おともゆつくりくつろげる公園にする計画です。

### 百十四種類の応募 った公園名の応募

公園名の応募は全部で百七十点。公園に対する市民の意識が多様化していることがわかります。

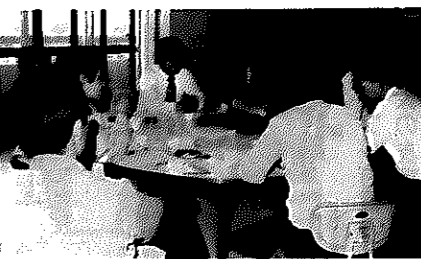
最終的には、十一人と最も多くの応募のあった「水道公園」に決定。浄水場跡地で、近くには市のシンボリックな配水塔も隣接し、水道町内でもあることから公園名としてふさわしいと命名されたもの。

### 二か年計画でいかに いきます市民の声

児童公園として造成するため多くの制約があり、みなさんの要望で、良い意見だとわかっていてもとり入れることのできない点も多くあります。

しかも、予算的には総事業費一億二千五百万円のうち、その大部分は土地買収費と整地費にあてられます。たとえば、いまの敷地内の高低をいかした公園を望む声も多いのですが、敷地内の地下はすべて水槽で、いまも水がいっぱい入っています。

このままでは危険ですので、建物も含めて全部こわし、整地する計画です。このための経費も膨大になるわけです。そのうえ、広さは標準の児童



「これはいいアイデアだ」検討会で

公園規模の約三倍。予算面からみなさんの意見をできるだけ多く反映した公園をつくるのは、今年度予算ではむずかしい、また、利用できるよう整備し、市民の声をいかした公園は、二か年継続事業で早期完成をめざして進めます。

### 初めての企画に市民の関心いよいよ

公共物の名称やアイデア募集は初めてのこと。それだけに不安のスタート。でも、市民の反応は弱く、ちよびり拍子抜け。白根庭園と合わせたこの大規模な公園は、市民みんなが利用できるのです。今後は「市民の声、お聞きします」を企画していきます。

### 解説 児童公園とは？

公園をつくるには、たくさんのお金が必要です。とても市費だけではつくるのができません。そこで、国の補助を受けることになりました。

公園関係の補助金は「都市公園法」に定められており、総合公園、運動公園、近隣公園、児童公園など数種類あります。しかし、白根市の場合、用地の確保や財政的な面から考慮すると児童公園を多くつくっていくことが得策のようです。

児童公園は、約二千五百平方メートル(二反半)の小さな公園で、児童を対象としたものです。現在、一人当たり〇・四平方メートルの公園面積を、都市公園法に定める標準の、一人当たり一平方メートルまで引きあげていきます。そして、用地や財政的な面がたてば、近隣公園などの大きな公園も造成していく計画もあります。また、農村地域には農村公園も徐々に整備していく計画です。